

花矢図書館だより



10
2022

おすすめ 新着図書

一般書

- ゼレンスキー勇気の言葉 100 (清水 克彦)
- 親の介護 手続きと対処まるわかりQ & A (田中 克典)
- わからないコロナ後遺症の症状と対処法がよくわかる (永井 英明)
- らくらくお米パン (野崎 ゆみこ)
- 「好奇心のかたまり」であり続ける黒柳徹子の言葉 (桑原 晃弥)
- たそがれの侵入者 (赤川 次郎)
- 最後の鑑定人 (岩井 圭也)
- こいごころ (畠中 恵)
- よって件のごとし (宮部 みゆき)
- よみぐすり (坂口 恭平)
- 見えない階 (鍋木 蓮)
- 事故物件、いかがですか? (原田 ひ香) 他

児童書

- 一歩先を歩こう (那須田 稔)
- 10歳からのプロジェクトマネジメント (伊藤 大輔)
- 桃太郎は嫁探しに行ったのか? (倉持 よつば)
- 海をわたる動物園 (いちかわ けいこ)
- いっしょにいこう (絵本)
- しま (絵本)
- ハレガエル (絵本)
- へんしん (絵本) 他

今月のスタッフいちおし!

一般 『9割の人が信じ込んでいる覚え違い大全』 博学こだわり倶楽部 編

『週休2日制は、週に必ず2日休める。』『イチゴは赤い部分が果実。』『クジラとイルカは違う種類。』『飛行機はバックができない。』実はこれ、全部間違い!

このように、誰もが疑いもなく「正解」と信じていたことでも、とんでもない間違いだったという事柄は多いんです!本書は、そんな『覚え違い』を取り上げ解説したものです。なんと、その数100以上!ページをめくる度に「え、ウソでしょ?」「ずっと間違っていたなんて…」「それって常識?!」って驚くこと間違いなしです。でも、ショックを受けたぶん、賢くなれると思いますよ。

児童 『だいじょうぶくん』 魚住直子作/朝倉世界一 絵

新しいクラスになじめない小学生の「そうた」。ある日、学校の帰り道に商店街を歩いていると、リサイクルショップで人間と話ができるぬいぐるみに出会います。その名も『だいじょうぶくん』。

そうたは店のおじさんからそのぬいぐるみを譲り受け、家に連れて帰ります。よくよく聞けばこのぬいぐるみ、持ち主の「まりちゃん」とあることをきっかけに離ればなれになってしまったというのです。ぬいぐるみにまりちゃん探しを頼まれたそうたは、ちいさな冒険にでかけます。ひっこみじあんだったそうたが、いろんな出会いを通じておおきく成長していく、楽しくもスリリングな物語です。

お知らせコーナー

🐾 今月のテーマ展示は…

秋はやっぱり
読書だね!

大人向け 『～鉄道にまつわる物語～』

子ども向け 『ハロウィン』

花矢図書館定例

『おはなし会』

10月19日(水) 10:30～11:00

- 出演 / おはなしの森さん
- 場所 / 花岡保育所

※延期や中止になる場合がございますので、予めご了承ください。

ホントのおはなし

本にまつわるおはなしを
ご紹介します!

“世界一長～い本”ってどれだけ長い?

堂々の第1位は…マルセル・ブルーストの代表作『失われた時を求めて』です。読んだことはないけど知っているという人は多いのではないのでしょうか。

実にその長さ、フランス語原書で3,000ページ。日本語訳では400字詰め原稿用紙10,000枚にもなるのだそうです。ギネスブックにも『世界最長の小説』として認められています。全7部、文字数9,609,000という気の遠くなるほど長い小説ですが、文学的評価が高く、多くの読者を獲得しているのだそうです。ちなみに、栗盛記念図書館に所蔵がございますので、秋の夜長にぜひ挑戦してみたい!という方はどうぞ。

番外編として、シリーズものの第1位は『宇宙英雄ペリー・ロードン』というドイツのスペースオペラ小説です。K・H・シェールほか、複数作家によるリレー形式の小説です。なんと、シリーズ数は驚愕の3,000巻超え!最長のシリーズとしてギネスに登録されています。

これ、ウソのようなホントのおはなし。

ご報告

9月のテーマ展示『貸出し回数0回の本』が好評につき、大館ケーブルテレビさん、秋田魁新報さん、北鹿新聞さんから取材を受けちゃいました!今後もいろんな企画をする予定ですので、ご期待ください!